［広報］ 鮫川村広報紙

さめがわ

1
2006 No. 621
平成18年１月１日発行



特集

食を考える

■**年頭のごあいさつ**
大樂勝弘村長　阿久津清次村議会議長

■**特集２**
ダイジェスト2005

■**ほっとニュース**
第16回村民駅伝競争大会
思春期ふれあい体験学習　ほか

［表紙写真］
雪遊びを楽しむ子どもたち
（12月20日）



まめな暮らしを生かした村づくりを

鮫川村長 **大樂　勝弘**
Katsuhiro DAIRAKU

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新年をお健やかに迎えられましたこと、心よりお喜びを申しあげます。また日ごろ、村政各般にわたりましてご支援、ご協力をいただきまして感謝を申し上げます。

平成十七年度計画されました各種事業も議員各位並びに村民皆様のご理解とご協力により順調に進行しました。大きな課題の四つの廃校の利用ですが、旧西野小学校は「こどもセンター」として毎日、保育園・幼稚園の子どもたちの元気な声が区民の皆さんに明るさと希望を与えており嬉しく思います。旧富田小は多目的な施設として活用しており、旧渡瀬小跡地は十八年四月の入居開始を目指し、村営住宅の整備を進めているところです。旧西山小につきましては、西山地区の活性化、振興対策に寄与できる利用を検討中でありますので、村民皆様からのご提言もお寄せいただきたいと思います。また、村道寅卯平富田線の改修工事も始まりました。村民の生活路線であり、幼児バスの送迎などの交通安全確保のための工事でもあります。平成十九年には完成予定でありますので、迂回路などのご協力をお願いいたします。

次に「豆で達者な村づくり」事業も大きな展開ができました。旧鮫川幼稚園を改修して立派な農産物加工直売所に生まれ変わりました。名称は、「手・まめ・館」と命名され、村の人たちが守ってきた源流の里のきれいな水、澄んだ空気、蛍が乱舞する素晴らしい環境の中で育てた野菜、また、「低農薬、減化学肥料」にこだわった安心安全の農産物を販売しています。

高齢者が汗をかき栽培した大豆は、味噌やきな粉、豆乳、豆腐に加工し「手・まめ・館」で販売を開始しました。納豆や油揚げも加工販売の予定です。高齢者の知恵をお借りし、農業の振興を図り、村民の皆さんに大豆製品を食べていただくことで、家族の健康を保持し、豊かで健康な暮らしができる農村環境の実現を村民皆さんと共に目指したいと思います。

平成十八年度は、歳入歳出とともに大幅な削減が予想される中、「最少の経費で最大限の効果」を念頭において事業に取り組んでまいります。鮫川村の基本理念を「まめな暮らしを生かした村づくり」「環境を生かしたやすらぎとふれあいの村づくり」として継続事業の早期完成を目指しながら、第三次鮫川村振興計画を策定する中で多くの村民から提言がありました村中心部の活性化「館山公園の整備」をはじめ、基幹産業であります農業の振興、安全・安心の農産物の生産指導、後継者の育成対策、農業者皆さんが農業経営で生計が維持できる農業の村の創造、高齢者などの福祉対策、そして、若人に選んでいただける村づくりや、子育て支援体制などの充実を図ってまいります。

本村も村民の皆様にとりまして、幸多き年でありますようにお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

謹賀新年



村の自立は地域の「きずな」から

鮫川村議会議長　阿久津　清次
Seiji AKUTSU

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、戦後六十年という意義ある年であったわけですが、現代社会が生んだ予期せぬ事件の多い年でした。また、昨年は新春の新聞の一ページに「鮫川村の地域からの挑戦」という大きな話題で幕を開けました。

本村では四月に幼児教育の拠点施設として「こどもセンター」がオープンし、現在はこれに連絡する村道寅卯平富田線の道路改築が進められています。また、「まめで達者な村づくり事業」も二年目を迎え、多くの高齢者の参加を得て作付けされ、天候にも恵まれて大豆もじゅうねんも順調な生育で、前年を上回る収穫がありました。この事業に関連する施設も各種団体や、村・議会などがさまざまな議論のうえ、農産物加工直売施設として十一月にオープンいたしました。

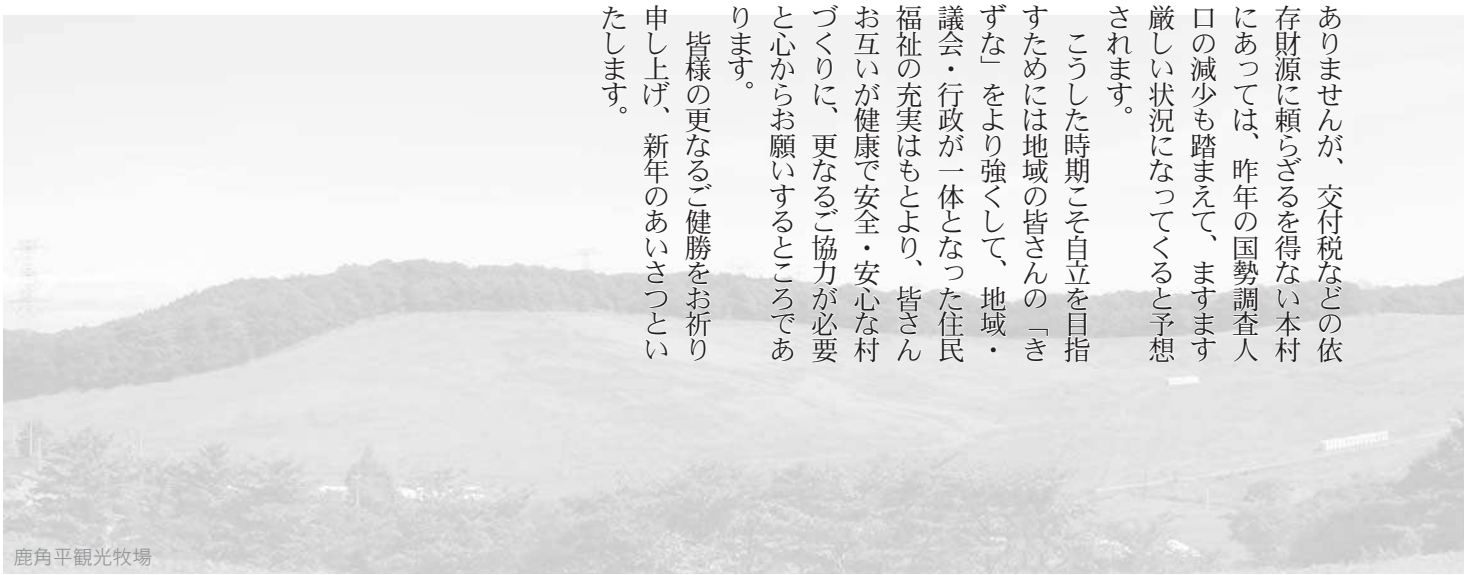
また、二期目を迎える中山間地域直接支払交付金事業も多くの農家の皆さんの賛同を得て新たな出発をいたしました。旧渡瀬小学校跡地も地域の方々のご協力により、村営住宅を含めた「まちづくり交付金事業」として整備が進められています。こうした鮫川村の特色を活かした自立に向けた事業が着々と進められていますことは、村当局の努力はもとより、村民皆様の深いご理解とご協力の賜であります。

さらに、昨年はふくしま駅伝の活躍を始め、児童生徒の活躍が輝いた年でもありました。誠にたのもしい限りであります。

鮫川村の将来を形づくる第三次振興計画の基本計画も、村民皆様の参加を得た手作りの計画が策定され、いよいよ平成十八年度から実施に入ってまいります。国の三位一体改革や小さな政府への構造改革の提唱は、現在のところ地方の実情と意見が必ずしも十分に反映される状況にはありませんが、交付税などの依存財源に頼らざるを得ない本村にあっては、昨年の国勢調査人口の減少も踏まえて、ますます厳しい状況になってくると予想されます。

こうした時期こそ自立を目指すためには地域の皆さんの「きずな」をより強くして、地域・議会・行政が一体となった住民福祉の充実はもとより、皆さんお互いが健康で安全・安心な村づくりに、更なるご協力が必要と心からお願いするところであります。

皆様の更なるご健勝をお祈り申し上げ、新年のあいさつといたします。


鹿角平観光牧場



特集 1

食を考える

私たちの身近にある「食」は、私たちの身体を維持するだけでなく、子どもたちの成長などにも深く関わってきます。食生活の乱れが指摘される今日、村では食の大切さを伝える事業に取り組んでいます。今月は十一月二十三日に行われた〝鮫川の「食」を考える講演会および鮫川の郷土料理を楽しむ会〟を中心に紹介し、「食」について考えてみたいと思います。

伝統食などの伝承の場に

村では、「豆で達者な村づくり」で生きがいづくりや健康づくり、特産品開発を進めるため、さまざまな方向から事業を展開しています。

村食生活改善推進員「ひまわりの会」の会員さんの協力を得ながら行う地区ごとの栄養教室は平成十三年から実施しています。主に調理実習や栄養講話を行っていますが、病気を予防するための食事や季節の食材を豊富に使った料理、伝統食などを教室の参加者に伝えています。年々参加者も増え、毎年開催されるのを楽しみにしている人もいます。

また、昨年度からは、村内の安全・安心な食材を活かした料理（伝統食・郷土食）を試食し、食の大切さを学んでもらおうと〝鮫川村の「食」を考える講演会、鮫川の郷土料理を楽しむ会〟を実施しています。

今年は約30点の鮫川の「食」が並ぶ

今年の〝講演会・楽しむ会〟は、十一月二十三日、村公民館で行わ

れ村内外から約百五十名が参加しました。

第一部の〝鮫川村の「食」を考える講演会〟では、鮫川村の食を研究する福永淑子さん（昭和学院短期大学教授兼栄養研究所長）が、世界各国の料理と鮫川村の料理を比較しながら鮫川村の「食」の魅力を語りました。

第二部の〝鮫川の郷土料理を楽しむ会〟では、「きな粉とじゅうねんのおはぎ」「五目煮」「けんちん汁」などの郷土料理、伝統料理が会場いっぱいに並び、参加者は鮫川の「食」を堪能していました。

■アイディア料理コンテスト入賞者

褒　　章	主食・副菜部門	汁 物 部 門	デザート部門
鮫川村長賞 （最優秀賞）	「豆腐のやまぶき揚げ」 山形良子さん（中山） 	「彩りすいとん」 関根徳子さん（戸倉） 	「しあわせかりんとう」 小森多恵子さん（戸草） 
ＪＡ東西しらかわ鮫川支店長賞 （優秀賞）	「豆腐の紅葉ホイル焼き」 青戸カツ子さん（前沼）	「五目だんご入りトマトスープ」 斎須信子さん（新宿）	「じゅうねんとかぼちゃのハーモニー」 鈴木眞理子さん（大塩）
鮫川村商工会長賞 （優秀賞）	「大豆と野菜のおいなりさん」 星邦子さん（薮）	「ほかほかスープ」 石井智子さん（酒垂）	「平成縄文クッキー」 鮫川村商工会女性部
福島県県南農林事務所長賞 （豆で達者な村づくり奨励賞）	「えごまコンニャク」 矢吹テル子さん（横座）	「家族団らん豆乳鍋」 鈴木恵美子さん（道少田）	「五目煮入りむしパン」 我妻幸子さん（落合）
福島民報社賞 （アイディア賞）	「じゅうねんソーセージ」 進士徹さん（葉貫）		「いもまんじゅう」 山本ハル子さん（押野）
福島民友新聞社賞 （アイディア賞）	「黒豆ずし」 水野洋子さん（広畑）		「まめやかドーナッツ」 芳賀伊津子さん（江竜田）
福島民報社・福島民友新聞社賞 （ファミリー賞）	「ヘルシーカレーライス」 藤田初枝さん、松崎美知さん ・松崎奈々美さん（本坂）		「豆乳入りスイートパンプキン」 舟木由香里さん・ 舟木太陽くん（石ノ花）
入　　賞	「かぼちゃのオーブン焼き」 清水恵子さん（葉貫） 「元気グラタンフォー！！」 進士陽平くん（葉貫） 「きのこのあえもの」 鈴木ミチ子さん（馬場） 「３色おかずプリン」 緑川久美子さん（棚倉町） 「若返りドレッシング」 進士童代さん（葉貫）		「豆乳サンド」 斎須信子さん（新宿） 「じゅうねんパウダー入り シフォンケーキ」 鮫川村商工会女性部 「エゴマシフォンケーキ」 矢吹和子さん（大塩） 「三色パン」 我妻トシ子さん（落合） 「チョコとゆかいな仲間たち」 青戸美枝子さん（前沼）

入賞した作品は「手・まめ・館」食堂や給食に

また、十一月十五日に行われたアイディア料理コンテストの表彰も行われ、受賞者に賞状と記念品が贈られました。

コンテストには、村内から五十四点の作品が寄せられ、ヴィライナワシロ（猪苗代町）山際総料理長を審査委員長に、五名の審査員により「外観」「味」「創造性」「市場性」「健康志向度」をポイントに厳正に審査が行われました。

入賞した作品（別表参照）は「手・まめ・館」食堂や、学校給食の献立に活用される予定です。



【郷土食を楽しむ会に集まった主なメニュー】　主菜…手打ちそば、おはぎ、豆ご飯、きな粉揚げパン／副菜…寄せ豆腐、刺身こんにゃく、一口カツ、サラダ／汁物…けんちん汁／デザート…豆乳かんてん／飲み物…きな粉ドリンク、豆乳、牛乳／福永教授コーナー…麻婆豆腐、まぼろしの肉まん／じゅうねん長生き実行委員会コーナー…えごまパン、エゴマプリン、きな粉飴



伝統食・郷土食を給食にも取り入れたいですね

村学校給食センター
中島　こふみ 栄養技師
Kofumi NAKAJIMA

季節感のある献立づくりを

今回参加させていただいた「郷土食を楽しむ会」にはさまざまな料理の中でも豆料理がたくさんありました。給食でも普段大豆を使った料理を出していますが、楽しむ会では、いろんな豆料理を味わうことができ、調理方法などで参考になった部分が大きかったです。

給食センターでは、小中学校の給食を作り子どもたちに食べてもらっていますが、献立づくりには季節感を出すように心がけています。今回の楽しむ会にあったような伝統食や郷土食はもちろんですが、地元の食材を使って食べてもらえるように取り組んでいます。

伝統食や郷土食は子どもたちも普段食べる機会が少なくなっていると思うので、給食に取り入れていきたいと考えています。現在も鮫川村産の食材を使って、給食を作っていますが、1月からは、昨年にオープンした「手・まめ・館」から食材を購入し、子どもたちに安心・安全な給食を提供していければと思います。また、子どもたちに「食」の大切さを教えるための「食農教育」を、給食センターでも行っています。現在のところ、給食の時間を使って月に2～3回程度、食べ物の栄養や摂り方などを分かりやすく子どもたちに教えています。一度、家庭科の授業にも参加させてもらいましたが、そのときに子どもたちに給食の献立を作ってもらいましたので、その献立を1月から取り入れていく予定です。



楽しく「食」に接するために



今の子どもたちは栄養が偏りがちです。大切なことは「食」に対する関心を持ってもらうことだと思います。給食センターでは、給食の時間での指導はもちろん、給食をバイキングにしたり、テーブルマナー教室を実施し、子どもたちが楽しく「食」に接することができる機会を持っています。これからも子どもたちに分かりやすく「食」の大切さを伝えていきたいと思います。



村農林課が調査し、まとめた本「伝えていきたい"おふくろの味郷土料理"」には、村内に伝わる伝統料理や郷土料理、冠婚葬祭料理などが掲載されています。

この本は、村食生活改善推進員「ひまわりの会」のみなさんの協力のもと、生活環境の変化により消え去ろうとしている伝統食・郷土食を見つめ直し、後世に残そうとまとめられました。

調査は2年間行われ、伝統料理・郷土料理のレシピのほかに、それぞれの料理の由来や、調理のポイント、伝統行事のいわれなどがまとめられています。（「手・まめ・館」で1冊1,000円にて販売しています。）

素晴らしい作品が多かったコンテスト

鮫川村のアイディア料理コンテストでは、鮫川村の豆を使った作品とじゅうねん、その他郷土料理をアレンジしたものがありましたが、素晴らしい作品が多かったと思います。主菜から汁物、デザートと工夫をこらしたものがありました。主菜に関しては即販売できる物と、味的にすばらしいものを選ばせて頂きました。中には我々プロでは思いつかない物まであり、参考になりました。山芋の使い方により食感をよくしたり、豆腐の使い方なども面白い物があり大変参考になりました。汁物作品が少なかったのですが、それでもどの作品も和・洋・中いろいろあり、味的に素晴らしい作品でした。

デザート部門ですが、豆乳などの使い方もよかったですが、アイディアが素晴らしかったと思います。我々プロからすればもう少し柔らかくするとか、もっとこの素材を使うとかひと工夫すれば素晴らしい物になると思います。

出来ればですが、今日みたいなときに子どもさんたちの参加がもう少しあればいいと思います。これだけ郷土料理があり、鮫川村の食材が豊富であることを子どもさんたちにもわかっていただけると、もっと子どもさんたちの意識が変わり、物の大切さ、故郷の想いが感じられると思います。



郷土の料理・食材が豊富なことを子どもにも知ってほしい

ヴィライナワシロ（猪苗代町）
山際　博美 総料理長
Hiromi YAMAGIWA

食育は躾（しつけ）

食という文字を分解すると「人に良い」と書きます。人に良くなければ食ではありません。道徳・マナーを備え身体を養うことと同じように、学校教育で「食育」を教えることが重要です。

本来ですと、姑から嫁、母から子どもへと伝承されてきた家庭で教えるべき「衣・食・住」に関連する知識や躾（しつけ）が伝達されにくくなってきています。そのため、食べ物の栄養の知識、食べ物を加工する調理・料理の技術、食文化、食事のマナーなどを教えることを通して、子どもたちへの躾が重要になってきます。日本人の四割が正しい箸の持ち方をできないそうです。


コンクール審査の様子

今、朝食を食べないで学校に来る子どもは三五％以上もいると言われています。これも高学年になればなるほど多くなり、理由を聞くと「お母さんが作ってくれない」「朝は忙しいので食べている時間がない」との答えが返ってきます。この状態で学校に行くと、十時過ぎからお昼を食べる時間までの脳の働きが悪くなり無気力の時間が続いてしまいます。

また、子どもたちの反社会的行動の問題点としてあげられる、突然キレて即暴力にはしったり、すぐイライラする原因は、「バランスの悪い食生活」が原因です。家族の食卓を考えても、父親は焼き魚、子どもたちはスパゲッティーなど、家族が自分の好きなものを別々に食べています。昔は大皿で家族全員が同じものを食べ親子の会話がありました。

日本の食べ残しにも驚きます。この食べ残しを恵まれない子どもに届けたとすると三十万人の子どもたちが餓死しなくてもいい計算になるといいます。これも躾で、昔は米一粒まで残すと叱られましたが、今は叱るということがないように見受けられます。ヴィライナワシロでは、子どもたちに「食」の知識を深めてもらうために、料理教室や農業体験に積極的に取り組んでいます。

7

3日　第60回健康づくり夏季球技大会（青少年広場ほか）
5日　農業委員一般選挙告示
10日　農業委員一般選挙投票日（無投票）
14日　防犯ブザー贈呈式（各小中学校）
21日　大豆栽培者研修（・25日。さぎり荘）
23日　渡瀬川魚つかみ大会・釣り大会（～24日。渡瀬地内）
30日　第５回小童まつり（鮫川小学校校庭）
31日　富田区完納50年達成記念式典（富田区集落センター）／第21回８時間耐久パワーエンデューロ大会（赤坂東野字戸草地内）

8

6日　第19回村民ふれあいグランドゴルフ大会（青少年広場）
8日　鮫川村農産物加工・直売所愛称審査会（関根由美子さんの作品「手・まめ・館」に決定）
9日　夏の夜のコンサート（N響・山口氏ら。村公民館）


夏の夜のコンサート

11日　福島大学人形劇こうえん（村公民館）
12日　第１回農産物直売会「夕市」（旧幼稚園）
15日　第27回鮫川花火大会（新宿トンネル付近）／魚つり・つかみどり大会（赤坂東野字遠ケ竜地内）
30日　第44回衆議院議員総選挙公示

9

4日　第16回チャリティー村民ゴルフ大会
11日　第44回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査投票日
17日　村内景勝地めぐり（天狗橋ほか）
18日　平成17年度鮫川村敬老会（704人を招待。農業者トレーニングセンター）
22日　交通安全パレード（赤坂東野字広畑地内ほか）／鮫川村戦没者追悼式・慰霊祭（村公民館）／第２回農産物直売会「夕市」（保健センター）／交通安全テント村
23日　秋季清掃・火防督励
24日　こどもセンター運動会
25日　鮫川村消防団秋季検閲（農業者トレーニングセンター）
26日　第１回ソフトボール大会（村ソフトボール協会主催。～10月４日。青少年広場）

10

2日　ふるさと相撲大会（赤坂西野字名下・熊野神社）


ふるさと相撲大会

5日　たんぽぽの家常設アンテナショップ（施設外作業所）「までいに家」オープンセレモニー（白河市・メガステージ白河）
16日　第18回高原の鮫川うまいもの祭り（鹿角平観光牧場）
29日　壇の岡祭（鮫川中学校）
30日　第２回江竜田の滝和太鼓ライブ（江竜田の滝）

11

3日　第10回村少年の主張大会・第４回音楽発表会（村公民館）
6日　青生野小学校学習発表会／鮫川村農産物加工・直売所「手・まめ・館」開所式およびオープニングイベント/火災防御訓練（前沼地内）



「手・まめ・館」オープン

9日　第８回交通安全東白川地方大会（農業者トレーニングセンター）
15日　アイディア料理コンテスト審査（村公民館）
19日　さめっ子フェスティバル（鮫川小）
20日　第17回ふくしま駅伝競走大会（総合第37位、村の部５位）
23日　鮫川村の「食」を考える講演会・鮫川の郷土料理を楽しむ会（村公民館）


郷土料理を楽しむ会

27日　第16回村民駅伝競走大会（西山チームが初優勝）

12

3日　こどもセンターお遊戯会
5日　自然食講演会（村公民館）
7日　社会学級閉級式（村公民館）
31日　2005年の大みそか。2006年へカウントダウン。

特集２

ダイジェスト2005

2005年―。皆さんにとってどんな年でしたか。村ではこどもセンターや村農産物加工・直売所「手・まめ・館」のオープンなど、さまざまな出来事がありました。

さて、新しい年「2006年」が皆さんにとって素晴らしい１年になることを願って、2005年の主な出来事を振り返ってみます。

村の１年を振り返る。

1

1日　平成17（2005）年の幕開け
4日　平成17年鮫川村消防団出初め式（村公民館）
9日　第57回鮫川村成人式（新成人68人出席。村公民館）
23日　文化財防火デー火災防御訓練（赤坂西野字名下・熊野神社）／鮫川流域交流会・源流編（村公民館）
30日　第19回東京鮫川会総会（会員・村関係者など約80人が出席。東京都・新宿住友ビル）

2

6日　第６回鮫川村親善インディアカ大会（男女混成の部で西山ほっと、40歳以上の部で青生野ひろちゃん、ファミリーの部で富田ファミリーＢが優勝。農業者トレーニングセンター）
15日　「環境にやさしい農業」講演会（村公民館）
23日　県南地方の特産品を味わう会（村公民館）

3

11日　鮫川中学校卒業証書授与式
13日　火災防御訓練（石井草字石井地内）
22日　鮫川幼稚園卒園式
23日　各小学校で卒業証書授与式
28日　鮫川・渡瀬保育所修了式

4

1日　鮫川村環境学習館オープン
6日　各小・中学校入学式
8日　こどもセンター開所式・入園式（旧西野小を改築し、保育園・幼稚園・子育て支援センターを整備）



こどもセンターオープン

10日　農林課内に鮫川村防霜対策本部を設置
14日　山火事防止パレード（村内）
21日　大豆・じゅうねん栽培指導会
29日　春季清掃・火防督励

5

3日　鮫川ふるさと春まつり2005（～５日。鹿角平観光牧場ほか）



ふるさと春まつり

14日　東京鮫川会ふるさと探訪ツアー（～15日。ほっとはうす・さめがわほか）
21日　鮫川小学校運動会
27日　平成17年度植樹祭（棚倉森林管理署主催。青生野地内）
29日　青生野小学校運動会

6

5日　第15回さわやか高原ロードレース大会（鹿角平観光牧場）



ロードレース大会

12日　平成17年度納税表彰式・納税組長会議（村公民館）
17日　2005年ＪＡＦ全日本ラリー選手権（～19日。村道東野牧野線）
18日　レディースゲートボール県南大会（さぎり荘ゲートボール場）
25日　渡瀬区完納50年達成記念式典（渡瀬区集落センター）

1
NEWS

年末年始を明るく
村内4箇所でイルミネーションを設置



設置場所　村農産物加工・直売所「手・まめ・館」
点灯期間　12月10日(土)～1月31日(火)
点灯時間　午後4時～午後9時
設置団体　村商工会青年部（前田正浩部長）



設置場所　ほっとはうす・さめがわ
点灯期間　12月1日(木)～2月4日(土)
点灯時間　午後5時～午後9時
設置団体　葉員夢プロジェクト(清水国明代表)



設置場所　真坂農村公園内
点灯期間　12月18日(日)～1月15日(日)
点灯時間　午後4時30分～午後10時
　　12月30日から1月30日までは午前0時まで)
設置団体　真坂三矢会（緑川好之会長）



設置場所　遠ケ竜ふれあい公園内
点灯期間　12月18日(日)～1月15日(日)
点灯時間　午後5時～午前0時
設置団体　遠ケ竜若衆会（森元良会長）

2
NEWS

西山チームが初優勝
第16回鮫川村民駅伝競走大会

村体育協会主催の「第十六回鮫川村民駅伝競走大会」は十一月二十七日、JA東西しらかわ渡瀬出張所前をスタート、役場前をゴールとする十一区間（二十二・八キロ）のコースで行われました。

大会には、七つの体育協会から八チーム（西野地区体協は二チーム）が出場。レースは序盤からリードしていた東石チームを、九区で西山チームが追い抜き見事初優勝を果たしました。

成績は次のとおりです。

▼**総合順位**　①西山（1時間24分33秒）②東石（1時間24分59秒）③中野（1時間25分06秒）④西野A（1時間28分29秒）⑤富田（1時間29分10秒）⑥渡瀬（1時間32分52秒）⑦西野B（1時間33分27秒）⑧青生野（1時間49分15秒）

▼**区間賞**（敬称略）　1区…松本匠（富田）／2区…矢吹恵里香（中野）／3区…矢吹清美（東石）／4区…蛭田清代枝（渡瀬）／5区…矢吹潤平（中野）／6区…蛭田彩子（渡瀬）／7区…坂本和也（西山）／8区…鏑木裕貴（中野）／9区…石井貴大（西山）／10区…高木勝人（中野）／11区…関根健人（西山）





上…元気よくスタートする小学生男子
下…西山チームアンカーの関根健人選手

3 NEWS

見事な走りでタスキをつなぐ

本村チームがふくしま駅伝で総合37位（村の部5位）

第十七回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）は、十一月二十日に白河総合運動公園（白河市）をスタートし、県庁前（福島市）をゴールとする十六区間（九十五・七キロ）のコースで行われました。

大会には県内から七十三チームが参加。今年で十六回目の出場となった鮫川村チームは、各選手が懸命にタスキをつなぎ、昨年の成績を上回る総合三十七位、村の部五位（5時間41分20秒）と見事な走りを見せました。



昨年を上回る成績を収めた鮫川村チーム

4 NEWS

出産・育児って大変？

鮫中で思春期ふれあい体験学習

中学一年生対象の思春期ふれあい体験学習は十二月十四日、鮫川中学校で行われ、出産や育児などについて学習しました。

学習では、先生方が妊婦の生活から出産までを描いた寸劇を披露したあと、妊婦体験ジャケットを装着し日常生活の動作を体験したり、赤ちゃんの人形を使って抱き方などを体験。また、妊娠中のお母さんや子育て中のお父さんから子育ての喜びや苦労などをインタビューしました。



人形の赤ちゃんを使って抱き方を学ぶ生徒たち

5 NEWS

午後4時になりました…

冬休みの「声」は青生野小の3人

冬休み期間中の夕方四時に流れる防災無線の放送は毎年、村内の小学生がアナウンサーを務めています。

今年の冬休みの「声」を担当したのは、青生野小六年の笹島千秋さん、笹島梓さん、生田目竜弥くんの三人です。

十二月十二日、役場放送室で声を録音した三人は、「読むのが難しかった。緊張したけど楽しく上手にできました。」と、笑顔で話してくれました。



マイクに向かう（左から）笹島千秋さん、笹島梓さん、生田目竜弥くん

みんなのページ

栗原　順一さん
Junichi KURIHARA

くりはら・じゅんいち● 昭和年26年５月生まれ。富田字鍬木田（大清水）在住。渡辺産業株式会社（棚倉町）勤務。趣味はガーデニング。



みんなのページは、
みなさんが参加するページです。
身近な情報をお寄せください。
〒963-8401
鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
ＴＥＬ　0247-49-3111
ＦＡＸ　0247-49-2651
Eメールアドレス
soumu@vill.samegawa.fukushima.jp
総務課総務係
「広報さめがわ担当」まで

村民［随想］リレー ⑨⓪

一期一会

月日の経つのは早いもので、私もいつの間にか昔なら職場を定年退職の年齢に今年はなってしまいます。自分自身は、まだ若いつもりで毎日を過ごしているのですが、無理もあります。昨年の十二月号の森元良君は秘湯巡りをできる悠々自適ならぬ〝湯友自適〟の生活を堪能できるなんて私にとっては羨ましいかぎりです。

さて、私の好きな言葉の一つに「一期一会」という言葉があります。人と物との最初で最高の出会いを、四十代頃からより一層大切にして、自分のライフスタイルの幅を広げていけたら良いなと思いはじめ、今でもいろいろな場所に出向いては数々の体験をして、楽しさや感動に魅了され、多くの人や物との出会いに感謝しつつ、最初で最高の出会いを求めている次第です。自分はまだ浅学非才の身であり、これからも多くの人々との出会いによって勉強していきたいと思います。

最近の子どもたちは、不幸にも悪魔に出会う事が昨年の後半より多くありましたが、このような悲しい事が無い明るい安全な社会に、今年はなって欲しいと願わずにはいられません。■

次は、大池義圀さん（赤坂中野字新宿）にバトンタッチ！

田村市船引町船引字馬場川原20田村市役所企画調整課「出張！なんでも鑑定団in田村」観覧係［往信裏面］応募者の住所・氏名・電話番号と「出張鑑定団観覧希望」と記入［返信表面］応募者の郵便番号・住所・氏名／応募締切…平成18年１月10日（火）必着／詳細・問い合わせ…田村市役所企画調整課☎0247-81-2135

●30周年記念・春休み国内交流事業「ちびっこ探検学校ヨロン島」参加者募集　期間…平成18年３月28日（火）～４月４日（火）／場所…鹿児島県大島郡与論町／申し込み締切…３月７日（火）／申し込み方法…所定の参加申込書に必要事項を記入し、保険証のコピーを添えて郵送してください。／詳細・問い合わせ…財団法人国際青少年研修協会☎03-3359-8421

●ウサギの里親募集　鮫川小学校では、学校で飼育しているウサギ（パンダウサギ）の里親を募集しています。かわいがってくれる方をお待ちしています。／問い合わせ…鮫川小学校☎49-2005



うまいもの祭りでも活躍した鮫小のウサギ

地域の催しの案内、仲間づくりの呼びかけなど、掲載希望記事を募集しています。詳しくは総務課広報担当まで

広報 文芸

俳句

冬来るはぐれ白鷺田の畦に　金沢　暁舟
枯るる山野鳥の姿見付けたり　中井　恒峯
三味の音や叙情詩豊か雪の郷　矢部　正子
しぐるるや一首一句のいろは坂　斎須　信子
帰省する娘(こ)の夕餉にときのこ飯　山本　恵子
天の川空いっぱいに夜明けの空　小山田　清哲
仏道は人生訓と裏腹に　北條　素人坂
初雪に垂れし南天赤さやか　前田　縫子
霜の夜の火星輝く酉の年　黒田　寿香
足裏に落葉の絨毯ここちよし　鈴木　米子
来る年や吾に六度の戌の年　松本　精一
ごめんねと言いば心も晴れるのに　小松　ハルエ
焦土化に突入したる凍(いて)の朝　山本五十鈴

短歌

雪雲に空は曇れど歌の日よみんな寄り来て賑わす話題　蛭田　光江
年金の暮らしに慣れて老い二人赤字出さずに今年も暮れる　大平　太平
孫たちの乗りし自転車ぽつねんと納屋隅にあり主待ち顔に　森　芳子
怪我等をせずに自身を守れという若きらの言葉に又振り返る　根本　恵智
木枯らしに窓を開ければ葉に乗りて不法侵入すカメ虫迄が　蛭田　浩市
枇杷の花の残雪迄も地に落とす朝の日差しの和やかさかな　芳賀　常夫
年来の丈夫な体も弛び来て出来る仕事は何かと探す　坂本　雪絵
植栽の紅葉夢に見ているが喜寿を過ぎても色の揃わず　前田　初
廃校の庭に雑草茂りつつ心痛むも未だなつかしき　須藤　マツ子
古里は如何に積もりしと病室の窓より眺む初雪の光　吉田　世津
もう一度会いたいという花言葉月下美人は誕生日の花　鈴木　イミ子
母を看取り畑の仕事も続けいてふと思う少女の無邪気な頃を　水野　珠子
仕事というわれに老いせぬ友のあり今日も日向に芋柄を剥く　関根　瑞恵
菊の手入れ何年しても初めての経験という友の言葉は　溝井　清乃
足膝の痛みに耐えて老クなる事務とる窓に鴨の声　齊藤　平四
何年も達者であれと手入れするのクレソンに緑は絶えず　鈴木　俊子
人間だもの感動の日を覚えたい雨に濡れつつ今日も出でゆく　岡部　一
友が来て話題の一つ置いてゆくわれは一人でそをかみしめる　柿沼　鯉乃
袋にし納屋軒下に吊りており大切とするその花種は　遠藤　秀
冥土への旅は何里か知らねどもまたも見え来るあの一里塚　松本　一郎
わが妻の卒寿迎えし誕生日過ぎ行き偲び労をねぎらう　鷺野谷　満
秋の雨上がりて小川水増してコオロギ乗りて紅葉ば流る　田中　志乃
万歳と諸手を挙げて叫びたし癌精検の夫異常なし　関根　キヌ子
孫の友結婚式の招待状差し出す二人の笑顔明るし　岡部　シゲ
すってんと転びし児等の足元に赤や黄色の紅葉舞いとぶ　北條　平
雅びなる雅楽や舞を皇居にて拝観したる喜びの秋　前田　喜三子
ほろ酔いにうたた寝をする夫おこさぬように毛布掛けやる　鈴木　クニ
拵ぎたてと柿を持ち来て賜びし人ふふめば口に優し広がり　杉山　磯子
百年を続きし校舎壊されて老いしわれらに侘しさ募る　赤坂　朝子
忙しくも社会学級クロリティー暇をつくるも老いの楽しみ　関根　フク
仕舞い置く野良着を着れば仄かなる土の匂いが老いの身包む　関根　ハナヨ
薄紅の紫蘇は小さい花実つけ母の漬物偲びつつ摘む　藤田　千代子
四〇年続きし村の幼稚園児らの声絶え紫陽花咲けり　斎須　ミヨ
戦いも虜囚も命永らいて八十路半ばの初日に向かう　関根　一好

さめがわ
畑楽(はたらく)協力隊だより Vol.9

緑のふるさと協力隊・飯塚ひろみさんの鮫川村体験記です。

ふるさと通信ができました

明けましておめでとうございます。2005年は私にとっては鮫川村の年でした。鮫川村に派遣されることが決定したのは1月25日の事だったので、去年の今頃は自分が一年後ここにいるとは予想もしないことでした。そう考えると、縁とは実におもしろいなぁと感じます。

自分とは元々まったく縁のない場所かと思えば、私の故郷である静岡県藤枝市とは東京からの距離が同じだそうで、また、この8ヵ月間ですっかり村に慣れ親しみ、43人のうちで鮫川村を希望した人は実は多かったそうですが、私が来るべくして来たのかもしれないと自負したくなります。それだけ皆様には温かく迎え入れていただいて、村ではさまざまな事を学ばせていただいています。

緑のふるさと協力隊は全国にいるのですが、順番で「ふるさと通信」というものを発行し、他の派遣地とNPO関係者に送付しています。毎月他の派遣地より便りが届き、同じ日本であっても文化の違いや共通している事柄などがあり大変興味深いです。12月号は私が書きました。私が感じた鮫川村を全国発信させていただいた事になります。せっかくなので多くの方に読んでいただきたく思い、他の派遣地から届いた「ふるさと通信」と共に手・まめ・館の食堂に置かせていただきました。協力隊の存在やその意味、また他の地域を知ることで自分の地域が見える部分もあると思います。手・まめ・館に立ち寄った際にはぜひ手にとって読んでみてください。

2006年はまた新たな歩みになると思います。長い学生生活を終え、夏休みもない夏ははじめてでした。社会の厳しさに揉まれながらまだ少し残る学生気分をしっかり払拭して、自立することを目標にしたいです。(文・写真／飯塚ひろみ)


初めての雪かき

情報の泉

わくわく WAKU-WAKU

短　歌

●文化祭短歌会入賞作品紹介（奥の鮫川短歌会）　11月18日にさざり荘において開催した文化祭短歌会の入賞作品を紹介します。短歌会は、古殿、棚倉、塙、矢祭より40名が参加し、小池和子先生を講師に迎え開催しました。

【村長賞】　集い来し手話教室に若きらと節くれだつ手に指文字習いぬ　石井チガヤ　(塙町)

【議長賞】　幾許の実入りを恃み稲起こす稲穂は甘く手に匂い来る　鈴木イミ子　(鮫川村)

【教育長賞】　雨上がり草紅葉せる畑隅に茄子は紫紺の光りを反す　関根　一好　(鮫川村)

【入賞者】　森芳子、関根キヌ子、北條平、鷺野谷満

【互選賞】　岡部シゲ、斎須ミヨ、杉山磯子、田中志乃、前田喜三子

案内・募集

●田村市合併記念事業「出張！なんでも鑑定団in田村」観覧希望者募集　開催日時…平成18年2月11日(土)午後0時30分開場、午後1時開演／会場…田村市文化センター／応募方法…往復はがきに必要事項を記入のうえご応募ください(当選はがき1枚につき1名入場できます)。／はがき記入事項…[往信表面]〒963-4393

雇用の場があれば活性化につながると思います



やまもと　としお
山本　寿夫さん（34歳）
［赤坂西野字大塩在住］

誕生月　昭和47年２月
血液型　O型
星　座　みずがめ座
性　格　マイペース

―仕事はどんなことをしていますか？
日本精工(株)で、研磨を担当しています。
―仕事で心がけていることはありますか？
交代制なので、体調管理をしっかりやって休まずに出勤することですね。
―休日はどんな風に過ごしていますか？
仕事の関係で休みがなかなか合わないので、休みが同じ人とゴルフに行ったりすることが多いですね。
―これからしてみたいことはなんですか？
かなうかどうか分かりませんが、海外旅行に行ってみたいです。
―現在の鮫川村についてどう思いますか？
のどかで静かなので住みやすい村だと思います。
―鮫川村に必要なものはありますか？
若者が定着できるように企業を誘致して、雇用の場を作ってほしいですね。若者がいれば活性化につながっていくと思います。

■　次は藤田圭子さん（赤坂西野字茅）の予定です。

学校だより

（第15回）

鮫川中学校 編
角田恒雄 校長
生徒165名

生徒の熱い思いを込めたふるさと発表会実施！

十二月三日、本校体育館と各教室で「ふるさと発表会」が実施されました。豊かな体験活動推進事業の指定を受け、本年度はその二年目になります。

総合的な学習の時間の中で、生徒たちは国際理解・地域理解・環境・福祉のいずれかの領域に所属し、自分で課題を設定し、施設や事業所を訪問したり、インターネットや文献で調べたりして課題解決を進めてきました。当日はその成果を発表する会です。始めに体育館で各領域の代表グループの発表を行ない、次に各教室に分かれて領域ごとに生徒全員が発表しました。四月からの取組みを模造紙にまとめたり、コンピュータを使ったり、また体を使って実演したりと、短い時間ながら工夫を凝らし一生懸命わかりやすく説明しようと真剣でした。この発表会を通して生徒たちは、他人に自分の考えを理解してもらうための表現の仕方を学びました。また他のグループのさまざまな考えに触れ、世界や地域の社会、自然についての視野を広めることができました。

多くの保護者、訪問した事業所などの方々、また学校支援委員の皆様にも発表を聞いていただき、今後さらに積極的に豊かな体験活動をすすめる際の貴重なご意見をいただくことができました。ありがとうございました。今後一層体験活動を通した学習を充実させていきます。

（文・写真／鮫川中学校）


ごみのリサイクルについて（環境領域班の発表）


老人の介護について（福祉領域の発表）

教育

鮫川村奨学基金奨学生を募集します

募集

村教育委員会では、鮫川村奨学基金の奨学生を次により募集します。

募集期間　平成十八年三月一日（水）～三十一日（金）

応募資格　▼鮫川村に引き続き五年以上住んでいるか、住んでいたことがある方▼高等学校、高等専門学校および大学、短期大学などに在学または今春入学予定の方▼経済的理由により修学が困難と認められること▼国や他の団体から同種類の奨学金の貸与または給与を受けていないこと

貸与月額　▼高等学校・各種学校（一～三年）…二万円以内▼高等専門学校…三万五千円以内。ただし、第三学年までは二万円以内▼大学・短期大学…三万五千円以内（なお、貸与月額については増額することで検討中です）

貸与始期・期間　平成十八年四月から、在学する学校の正規の修学期間

奨学金の償還　貸与は無利子で、卒業後六カ月から毎月、十年以内に償還すること（全部または一部を一時償還することができます）

奨学生の決定　選考委員会で願書の内容を審査し、奨学生を決定します。

■申し込み・問い合わせ　村教育委員会教育課教育総務係☎４９－３１５１

もうすぐ1年生

平成18年４月に小学校入学予定の児童は、平成11年４月２日から平成12年４月１日までに生まれたお子さんです。

平成17年12月１日現在の調べで、入学予定の児童は次の40人です。名前の間違いや漏れがありましたら、１月20日（金）までに村教育委員会教育課教育総務係（☎49-3151）にご連絡ください。

■平成18年度新入学予定児童

▶**青生野小（７人）**…［青生野区］岡部暢介くん、長久保拓仁くん、白石和也くん、長井優太くん、長井萌ちゃん、三瓶衣織ちゃん、藤田恭佳ちゃん

▶**鮫川小（33人）**…［赤坂西野区］須藤悠太くん、北條太喜くん、矢吹寛幸くん、星龍太くん、石井成美ちゃん、高坂美奈ちゃん、増子美咲ちゃん、矢吹琳ちゃん、藤田麻椰ちゃん、生田目侑ちゃん［西山区］我妻奈桜ちゃん、芳賀絵理香ちゃん、石井美紀ちゃん［赤坂中野区］湯座雅貴くん、圓井恭輔くん、前田祐太朗くん、生田目大輔くん、土手内茉奈ちゃん、円井菜津美ちゃん、薄葉和奏ちゃん、小野彩実ちゃん、岡部花歩ちゃん［赤坂東野石井草区］蛭田渉くん、森勝治郎くん、中川西伯仁くん、矢吹駿亘くん、諸橋友太くん、武藤貴仁くん、藤田成海ちゃん［富田区］金澤京平くん、青戸励くん［渡瀬区］芳賀都加沙ちゃん、一ノ渡愛海ちゃん

農業委員会から

農業委員会委員選挙人名簿登載申請

農業委員会では、毎年１月１日現在で農業委員会委員の選挙人名簿登載申請を受け、その資格を審査し、村選挙管理委員会に提出しています。

名簿登載申請書を基に「農業委員会委員選挙人名簿」を作成しますので、次の「選挙権を有する資格要件」を参考にもれなく記入し、組長さんを通して農業委員会事務局に提出してください。

■選挙権を有する資格要件

①年齢…平成18年１月１日現在、鮫川村に住所があり、平成18年３月31日までに満20歳に達する方（昭和61年４月１日以前に生まれた方）

②経営耕地面積…10アール以上の農地を耕作している方とその配偶者および同居親族

③農業従事日数…年間おおむね60日以上耕作に従事する方

提出期限　該当する方は、平成18年１月５日（木）までに組長さんへ、組長さんは１月６日（金）までに各区長さんへ提出してください。

■問い合わせ　村農業委員会事務局☎４９-３１９７

年金

電話による各種証明などの交付申請受付を始めました

国民年金・厚生年金に関する各種証明などの交付（再交付）申請について、これまでは郵送または窓口のみでの受付でしたが、平成17年10月31日から新たに電話でも受け付けることとしました。

なお、電話による受付は、個人情報保護の観点から本人のみが対象となります。本人が直接申請することが困難で、配偶者が申請を行う場合は、配偶者であることを確認し受け付けます。

対象となる各種証明書など　準確定申告用源泉徴収票、裁定通知書・支給額変更通知書、給付証明書、年別内訳書、返納金納付書、改定通知書、源泉徴収票、振込通知書

その他　電話による申請の際に、本人の場合は基礎年金番号・年金コード、氏名、生年月日、住所、支払機関名など、配偶者の場合は配偶者の氏名・生年月日、本人が直接申請することが難しい理由などを確認しますので、あらかじめ年金証書などをご用意ください。

■問い合わせ　ねんきんダイヤル☎０５７０-０７-１１６５、福島社会保険事務局白河事務所☎０２４８-２７-４１６５

募集

村親善インディアカ大会参加チーム募集

村体育協会では、「第７回村親善インディアカ大会」の参加チームを募集しています。

日時　平成18年２月５日（日）午前８時30分受付開始、10時競技開始

会場　村農業者トレーニングセンター

競技部門　▼男女混成の部▼ファミリーの部▼40歳以上の部

参加資格　▼村内在住または勤務者▼村内のスポーツチームに所属し、村体育協会に加入する村外在住者▼小学生（おおむね４年生以上）

注意事項　▼男女混成および40歳以上の部は、ゲーム中に女子が必ず２名以上出場すること▼ファミリーの部はゲーム中、常に親または大人（中学生以上）と小学生（２名以上）が一緒に出場すること

参加費　１チーム１，０００円（申し込み時に納入してください）

申し込み期限　平成18年１月24日（火）※ＦＡＸも可。

■問い合わせ　村体育協会事務局（農業者トレーニングセンター内）☎４９-３２９５（ＦＡＸ兼）

Information

くらしの情報 インフォメーション

役場の電話番号

0247-49-3111（代表）

【直通電話番号】

総務課	49-3111
	FAX 49-2651
住民福祉課［住民係］	49-3112
［健康係・福祉係］	49-3113
	FAX 49-2651
農林課	49-3114
	FAX 49-2112
企画調整課	49-3115
	FAX 49-3363
地域整備課［建設係］	49-3116
［環境係］	49-3196
	FAX 49-3363
農業委員会	49-3197
	FAX 49-2112
議会事務局	49-3198
出納室	49-3199

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
	FAX 49-3152
図書館（FAX兼）	29-1150
公民館	49-2247
農業者トレーニングセンター（FAX兼）	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（鮫川保育園・鮫川幼稚園）	29-1010
	FAX 29-1012
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ（FAX兼）	48-2555
「手・まめ・館」	49-2556
	FAX 49-2445

◆お知らせ２

携帯電話119番通報受信システムが変わります

白河消防本部管内から掛けた携帯電話による119番通報は、これまで郡山消防本部を経由して受信していましたが、平成18年１月31日から、白河消防本部通信指令室で直接受信するようになります。

■**問い合わせ**　白河地方広域市町村圏消防本部☎0248-22-2155

第58回鮫川村成人式

日時　平成18年１月８日（日）午前10時開式（受付９時30分から）

場所　村公民館大集会室



昨年の成人式から

■**問い合わせ**　村教育委員会教育課生涯学習係☎49-2247、49-3151

福島県学生寮平成18年度入寮者募集

財団法人福島県学生寮（佐藤栄佐久理事長）では、平成18年度の入寮者を募集しています。

学生寮の所在地　①男子寮（定員95人）…千葉県松戸市松戸638の4／②女子寮（定員50人）…東京都渋谷区幡ヶ谷3丁目72番9号

募集人員　男子寮25人程度、女子寮20人程度

受付期間　平成18年１月20日（金）まで（必着）

入寮時期　平成18年４月１日（土）～４月10日（月）まで

入寮期間　２年間（正規の修業期間を限度として更新を認めます）

■**問い合わせ**　財団法人福島県学生寮事務局（福島県教育庁教育指導領域内）☎024-521-7775

平成17年分確定申告説明会開催

白河税務署では、平成17年分消費税新規課税事業者および公的年金などの受給者を対象に、確定申告書の作成・提出を目的とした説明会を次のとおり開催しますのでご利用ください。

（１）消費税新規事業者説明会

日時　平成18年２月２日（木）午前10時～（一般課税）、午後１時30分～（簡易課税）

場所　棚倉町公民館

（２）公的年金受給者説明会

日時　平成18年２月８日（水）午前10時～、午後１時30分～

場所　棚倉町公民館

■**問い合わせ**　白河税務署個人課税第一部門☎0248-22-7113

鮫川村街頭犯罪発生状況

棚倉警察署（☎33-3241）

対象犯罪	発生件数	累計
空き巣	0	2
忍び込み	0	0
出店荒らし	0	1
事務所荒らし	0	4
ひったくり	0	0
車上ねらい	0	3
無施錠	0	0
ガラス破り	0	2
鍵穴破壊	0	1
自転車・バイク	0	0
その他	0	0
自動販売機ねらい	0	1
部品ねらい	0	0
自動車盗	0	0
オートバイ盗	0	0
自転車盗	0	0
計	0	11

発生件数：11月22日～12月22日
累計：１月１日～12月22日

●現在、街頭犯罪の発生は減少傾向ですが、犯罪はいつ身近に起こるかわかりません。おかしな人や不審な車に気付いたら、早期通報をお願いします。

◆いきいき健康通信　文／村住民福祉課健康係　村山通子保健師

家庭でのコミュニケーションを大切に育みましょう

新年を迎え、家族そろって暖を囲み、ご自分の「今年の抱負」を語ることができたでしょうか。また、家族ひとり一人の思いを聞くことができたでしょうか。

近年、日常生活で、家族（親子）の自然な関わりができにくくなったといわれています。その背景には、各種メディア（テレビやビデオなど）の発達や普及などの急速な変化にあるといわれています。日常でテレビのつけている時間の割合の増加、一定時間をメディアと接触しないと落ち着かない（メディア依存症）人たちの増加、仲間と遊ぶことや知人との付き合いが少ないライフスタイルの増加など、家族が一緒にいながら人としてのコミュニケーションなどが減少してきたといわれています。あなたのご家庭ではどんな家族の時間をお過ごしでしょうか。

■テレビやビデオなどを見る際の注意

ご家庭でテレビやビデオなどを見る際に努力できることから始めましょう。

① 家族で食事中（授乳中を含む）のテレビは控え、コミュニケーションの時間にしましょう。

② 子ども（２歳まで）の場合、音の聞取り能力が未熟で一度にいくつもの音が聞き取れず、ことばの発達を邪魔することもありますので、できるだけテレビやビデオを見る時間を少なくしましょう。

③ 自分が使いたい時間や、家族との交流の時間などを上手に使うためには、メディアへの接触時間は一日２時間、テレビゲームなどは一日30分位を目安にしましょう。

④ メディアの種類や量、家族形態は各家庭でまちまちです。家族間でメディアを上手に利用できるルールを決めましょう。おとうさんがまだ小さいご家庭では、保護者がお子さんの成長を促すためにルールを決めて実行しましょう。

■ことばの始まりとやりとりを大事に

ことばは、子ども（赤ちゃん）のときに、子ども自身の気持ちが向いたときやその場にぴったりのことばを聞かせてもらうことで覚えていくものです。例えばみかんを食べているときに、「みかん、おいしいね」と親に言ってもらうことが、ことばを育むにはとても大事です。ところが、このときにテレビやビデオがいつも流れっぱなしでいると、子どもは「知ろう」とか「聞きたい」という気持ちよりもただ聞き流すという状況になりがちです。

また、大人（保護者）の方もテレビなどの画面に気を取られ、せっかく子どもが話しかけてきているのにすぐに返答ができなかったり、子どもと話す時間があっても大人の方が画面に集中してしまい、上の空の会話になりがちです。ご家庭でもこのような場面がありませんか。最近は、夫婦や高齢者間にもこのような状況が広がっています。

コミュニケーションは、自分の気持ちや考えを相手に伝えたいという気持ちが最も大切です。「伝えたい人」がいること、「この人にこの事」を話したいと思えること、その基礎が家庭にあります。

Book

図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介

鮫川村図書館☎29-1150



めんどりヒルダのこわいよる（メリー・ウォーメル著、ほんじょうまなみ訳、新風舎）ある日、めんどりのヒルダが目を覚ますと、あたりはもう真っ暗。ひとりにわとり小屋へ帰るとき、次々とおそろしいものがおそいかかってきます。ヒルダは無事に帰り着くことができるのでしょうか。



恋するように働きなさい（水澤佳寿子著、小学館）私の仕事、今のままでいい？子育てと仕事の両立無理かも…。どうして私ばっかりこんなにたいへんなの？と思うあなたへ。この本を読めばみんなあなたのものになります。

火	水	木	金	土
3 ㊡塙厚生病院（塙町） ☎43-1145 ●図書館休館日	**4** ●仕事始め ●村消防団出初め式 ●図書館休館日	**5**	**6**	**7**
10 ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／西山第一集会所 ●各小中学校・幼稚園始業式 ●図書館休館日	**11** ●社会復帰支援事業（やまぶきの会）…10:00～15:00[保]	**12** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●小正月だんござし[こ]	**13** ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／落合多目的集落センター	**14** ●さめがわ夢づくり起業塾(第3回)…13:30～16:00／役場「正庁」
17 ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／折戸集会所	**18** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**19** ●リハビリ教室…10:00～15:00[保]	**20** ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／大平集会所 ●農業委員会総会 ●心配ごと相談…13:00～15:00[公]	**21**
24	**25** ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／関口集会所 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●中2思春期ふれあい体験学習…13:30～15:30/鮫中	**26**	**27** ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／江竜田公民館 ●幼稚園保育参観日[こ]	**28** ●さめがわ夢づくり起業塾(第4回)…13:30～16:00／役場「正庁」 ●チャレンジスクール「スキー教室」
31 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**2/1** ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／福原集会所	**2** ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**3** ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／官沢集会所	**4**
7 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**8** ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／大塩集会所 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保]	**9** ●リハビリ教室…10:00～15:00[保]	**10** ●栄養教室･健康相談会…10:30～15:00／赤坂中野区集落センター	**11** *建国記念の日* ㊡和田医院（棚倉町） ☎33-2012 木村医院（矢祭町） ☎46-3528

[公]＝公民館　[保]＝保健センター　[図]＝図書館　[トレセン]＝農業者トレーニングセンター　[ほ]＝ほっとはうす・さめがわ　[こ]＝こどもセンター

●お誕生おめでとうございます

（11月届け出分・敬称略）



水野（みずの）　陽亮（ようすけ）・男
平17.10.22生
住所…沼野沢
保護者…亮達・智恵子



木村（きむら）　光祐（こうすけ）・男
平17.11.4生
住所…江竜田
保護者…弘樹・靖子



藤田（ふじた）　友稀（ともき）・男
平17.11.14生
住所…上
保護者…伸司・早苗



石井（いしい）　葵（あおい）・女
平17.11.26生
住所…酒垂
保護者…仁之・理恵

●おくやみ申し上げます

（11月届け出分・敬称略）

住所	氏名	月日	年齢
前田	前田　重男	11.6	84歳
田尻	高久　トキ	11.27	73歳

●人の動き　12/1現在・（　）は前月比

人口	4,506 人	（±0）
男	2,242 人	（±0）
女	2,264 人	（±0）
世帯	1,120 戸	（+2）

●寄付・寄贈　（11月受理分・敬称略）

■社会福祉事業のために[金員]……村ふるさと文化芸能クラブ（代表矢吹一二）、前田均（前田）、高久利道（田尻）
■「手・まめ・館」に[タオル]……矢吹三郎（中沢）

※お誕生・おくやみ・寄附欄への掲載を希望されない方は、届け出の際に申し出てください。

●編/集/後/記

■新年あけましておめでとうございます。今年も広報さめがわをよろしくお願いいたします。昨年以上にみなさまに親しまれ、読みやすい広報紙を目指したいと思いますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。■2006年、みなさまのますますのご活躍を願って今年最初の編集後記とします。　（緑川）

1 生活情報カレンダー 月1日～2月11日

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

日	月
1/1 元旦 ㊡和田医院（棚倉町）☎33-2012 木村医院（矢祭町）☎46-3528 ●図書館休館日	2 振替休日 ㊡勝田医院（棚倉町）☎33-3008 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 ●図書館休館日
8 ㊡大木医院（棚倉町）☎33-2424 石川医院（塙町）☎43-0003 中島病院（石川町）☎26-3415 ●第58回村成人式	9 成人の日 ㊡東白川中央病院（棚倉町）☎33-3263 車田病院（塙町）☎43-1019 ●図書館臨時開館
15 ㊡藤田医院（棚倉町）☎33-2013 中島医院（塙町）☎43-0373 中島病院（石川町）☎26-3415	16 ●４カ月児健診・ＢＣＧ接種・お母さんの口腔健康相談…13:30～／塙厚生病院 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●図書館休館日
22 ㊡あらまちクリニック（棚倉町）☎33-8018 東舘診療所（矢祭町）☎46-3165 中島病院（石川町）☎26-3415 ●文化財防火デー火災防御訓練	23 ●筋力づくり教室…10:00～15:00[保] ●栄養教室・健康相談会…10:30～15:00／岩野草育苗センター ●図書館休館日
29 ㊡おおひら整形外科クリニック（棚倉町）☎33-9468 塙厚生病院（塙町）☎43-1145 大野診療所（石川町）☎26-2615	30 ●栄養教室・健康相談会…10:30～15:00／渡瀬区集落センター ●図書館休館日
5 ㊡杉山胃腸科外科皮膚科（棚倉町）☎33-7551 金沢医院（矢祭町）☎46-2312 中島病院（石川町）☎26-3415 ●第７回村親善インディアカ大会	6 ●栄養教室・健康相談会…10:30～15:00／真坂公民館 ●図書館休館日

㊡＝休日当番医

鮫川の昔話

第十三話

黒犬の恩返し（江竜田の獅子舞）

（文・切り絵　中井恒峯）

むかし、むかし青生野の大犬平というところに、一匹の黒い大きな犬が住んでいました。この頃、村では天候が悪く、大雨や日照りが続き、農作物の収穫がなく、凶作が相次いでいました。また、悪疫も流行し、だんだん貧しくなり、生活に大変困っていました。

一方、江竜田のあたりには、いつのころかひとりの若者が来て住みつきました。この若者と一匹の大犬（クロ）は仲良しで、毎日のように行ったり来たりしていました。

ところが、凶作でとうとう明日食べる米もなくなってしまったので、その日は、かわいがっていたクロをひざに抱いてまるで自分の子どもにでも聞かせるようにやさしく言いました。

「クロよ、今までよくこの貧乏なわしと遊んでくれたな。しかし、わしもこれでおしまいかもしれない。お前に食べさせる魚や米もなくなってな。クロよ。ありがとうな。」

と涙ながらに言い聞かせました。

クロは黙って首を下げ、じっと聞いていましたが、どこかへ行ってしまいました。

それからしばらくたったある日、この地に一人の老人が三人の子どもに獅子舞を演じさせながらやってきました。そして江竜田の家々を巡り、

「悪疫退散と豊作を祈って舞います」と言いながら、真剣に踊りを披露しました。

その老人が言うには、

「私は大犬平に住んでいた一匹の黒犬でした。皆さんに可愛がられ、この地に行き来していましたが、神に迎えられ十二支の一員となりました。お礼に三匹の獅子頭をあげますから、毎年演じて祈ってください」

と言いい、どこともなく消えたのです。

それからは農作物も豊作となり、平和な村となりました。

（福島史談会長・広畑出身）

※この話は、筆者が村を訪ねた際に民話などを採話し作られたものです。



広報 さめがわ　No.621［平成18年1月1日発行］
■発行・編集／福島県鮫川村役場総務課　〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5　■TEL 0247-49-3111（代表）
■FAX 0247-49-2651　■ホームページ http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/　■E-メール soumu@vill.samegawa.fukushima.jp